

熱測定で物質の本質を探る

講 師 伊藤 昌和 氏

(鹿児島大学学術研究院総合科学域総合教育学系・准教授)

日 時 2021 年 9 月 28 日 (火) 14:35~

場 所 オンライン (Zoom)

比熱をはじめとする熱測定は基本的な実験手法ではあるが、物性研究に対して極めて有効な手法でもある。その測定対象は幅広く、多くの情報が得られる一方、結果の解析に経験が必要とすることが多い。講演では逐次スピングラスを持つホイスラー化合物 $\text{Ru}_{2-x}\text{Fe}_x\text{CrSi}$ の低温領域での比熱の温度依存性の特徴や、スピン再配列転移を示すホイスラー化合物 $\text{Fe}_{2-x}\text{Co}_x\text{MnSi}$ の磁気エントロピーの x 依存性から予想される磁気構造を例に挙げ、熱測定が系のミクロな描像への理解に役立つことを示す。また、特異な物性を示す硫化スピネル化合物を利用した新しい概念の熱材料としての可能性についても触れる。

【Zoom セミナーサイト】

<https://zoom.us/j/>

ミーティング ID: 966 2002 2404

パスコード: 409081

共同セミナー「理工学融合共同演習」認定科目です。

担当：鈴木 孝至 (内線 7040)

共同セミナーとして受講する学生は、件名を「共同セミナー9/29 受講」とした電子メールに、学生番号と氏名を記載して、鈴木(tsuzuki@hiroshima-u.ac.jp)あてに送付し、セミナー終了後 1 週間以内に鈴木 (先端物質科学研究棟 301W) までサインをもらいに行ってください。

